

27

転送

この章では、GP-Pro EX で作成した画面を GP で表示させるために、作成したプロジェクトファイルを GP へ転送する方法と、現在 GP に記憶されているプロジェクトファイルをパソコンに転送する方法について説明します。

まず「27.1 設定メニュー」(27-2 ページ)をお読みいただき、目的に合った説明ページへ読み進んでください。

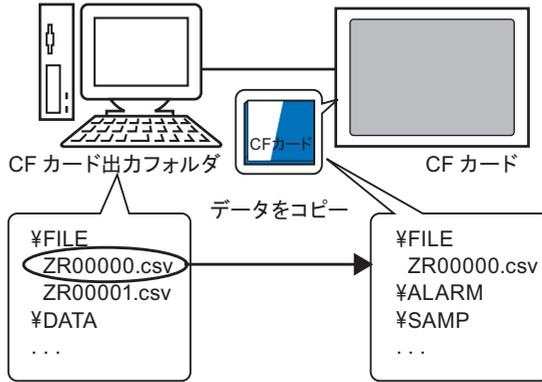
27.1	設定メニュー.....	27-2
27.2	USB 転送ケーブルで転送したい.....	27-4
27.3	イーサネット (LAN) で転送したい.....	27-11
27.4	転送前にプロジェクトの変更点を確認したい (比較).....	27-24
27.5	CF カードにデータだけを転送したい.....	27-27
27.6	パスワードで転送を許可したい.....	27-30
27.7	転送ツールの設定ガイド.....	27-35
27.8	制限事項.....	27-43

27.1 設定メニュー

USB 転送ケーブルで転送したい	
<p>USB 転送ケーブルを使ってプロジェクトファイル (*.prx) を転送します。</p>	<p>☞ 設定手順 (27-5 ページ)</p> <p>☞ 詳細 (27-4 ページ)</p>
イーサネット (LAN) で転送したい	
<p>LAN ケーブルを使ってプロジェクトファイル (*.prx) を転送します。</p>	<p>☞ 設定手順 (27-12 ページ)</p> <p>☞ 詳細 (27-11 ページ)</p>
転送前にプロジェクトの変更点を確認したい (比較)	
<p>パソコンと GP のプロジェクトファイル (*.prx) を比較し、どの画面を更新したのか確認します。</p>	<p>☞ 設定手順 (27-25 ページ)</p> <p>☞ 詳細 (27-24 ページ)</p>

CF カードにデータだけを転送したい

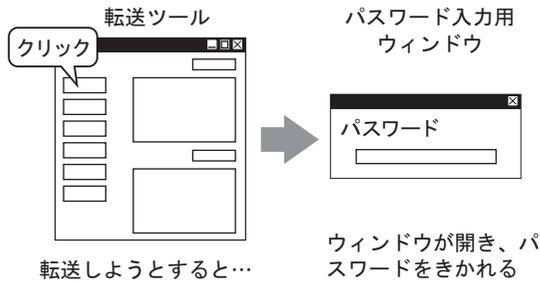
プロジェクトファイルを転送せずに、レシピデータだけを GP 内の CF カードにコピーしたり、CF カード内のアラームデータだけをパソコンにコピーします。



- ☞ 設定手順 (27-28 ページ)
- ☞ 詳細 (27-27 ページ)

パスワードで転送を許可したい

転送を行う際にパスワード入力用ウィンドウが表示され、一致しないと転送できないようにします。



- ☞ 設定手順 (27-31 ページ)
- ☞ 詳細 (27-30 ページ)

27.2 USB 転送ケーブルで転送したい

弊社オプション品の USB 転送ケーブル（型式：CA3-USBCB-01）を使用してパソコンと GP を接続し、プロジェクトファイル（*.prx）を転送します。

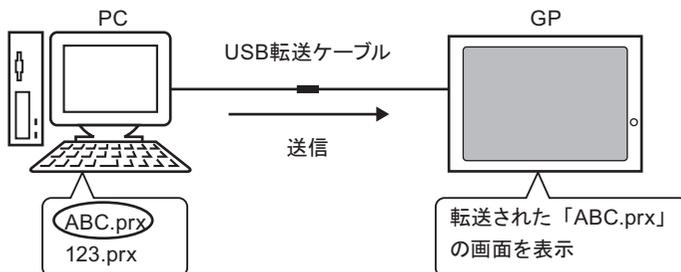


重要

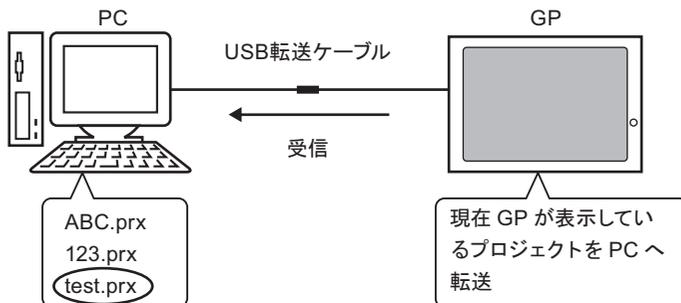
- USB 転送ケーブルの仕様、取り付け方法は、ご使用の USB 転送ケーブルに付属されています取扱説明書を参照してください。

27.2.1 詳細

- パソコン → GP に転送（送信）
選択したプロジェクトファイル（*.prx）を GP へ転送し、プロジェクトを表示できます。



- GP → パソコンに転送（受信）
GP に記憶されているプロジェクトのデータを、新たなプロジェクトファイル（*.prx）としてパソコン内に保存できます。



27.2.2 転送手順

パソコンから GP への転送（送信）

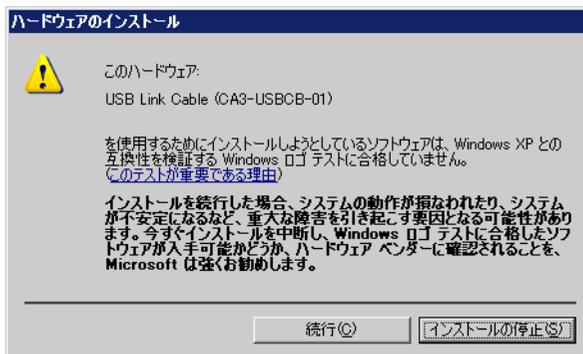
GP に始めてプロジェクトファイルを転送する場合の手順をご紹介します。

- MEMO**
- 送信動作の詳細については「27.7.2 送信のしくみ」(27-39 ページ)を参照してください。
 - 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
☞「27.7 転送ツールの設定ガイド」(27-35 ページ)

1 弊社オプション品の USB 転送ケーブルでパソコンと GP を接続します。

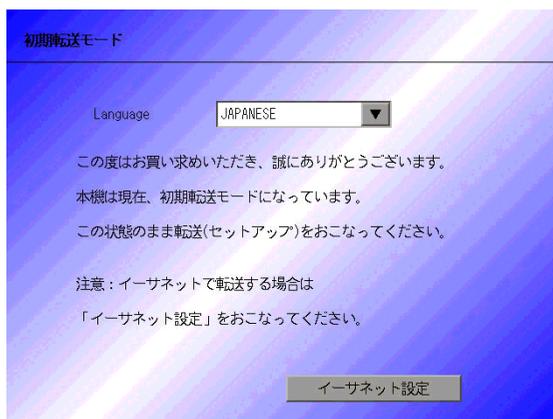
USB ケーブルのドライバがインストールされていない場合は、ダイアログボックスが表示されますので指示にしたがってインストールしてください。

- MEMO**
- WindowsXP のセキュリティレベルによっては USB ドライバインストール中に下記のような [ハードウェアのインストール] ダイアログボックスが表示されます。[続行 (C)] をクリックすると CA3-USBCB-01 のドライバのインストールが開始します。インストールが終了したら [完了] をクリックします。



2 GP の電源を ON します。GP には [初期転送モード] 画面が表示されます。英語画面が先に起動するので [Language] の右部分をタッチして [Japanese] に変更します。

< GP 画面 >



GP をご購入いただいた直後に電源を ON した際の画面です。一度プロジェクト転送を行うと、以降はこの画面は表示されません。

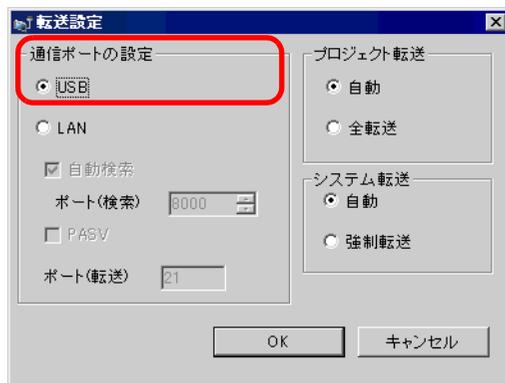
3 GP-Pro EX の状態ツールバーから画面転送アイコン  をクリックして転送ツールを起動します。



4 [プロジェクト情報] で転送するプロジェクトファイル名などを確認します。

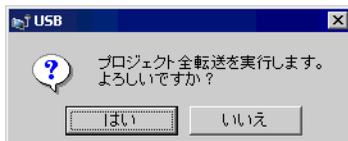
違うプロジェクトを転送したい場合は [プロジェクト選択] ボタンをクリックしてプロジェクトを選択できます。

5 [転送設定情報] で [転送先] が [USB] になっていることを確認します。[USB] でない場合は、[転送設定] をクリックすると、次のような [転送設定] ダイアログボックスが表示されるので [通信ポートの設定] で [USB] にチェックを入れ [OK] をクリックします。

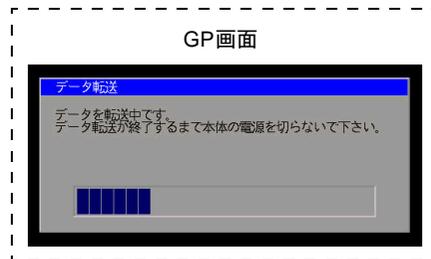
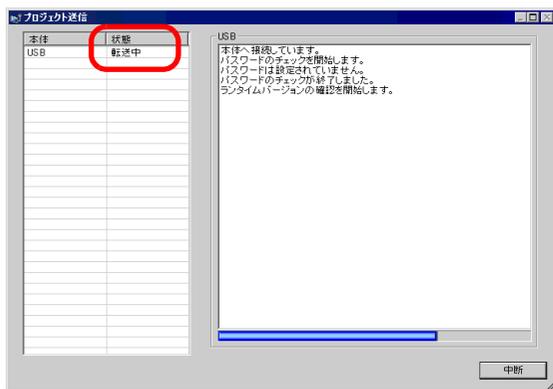


6 [プロジェクト送信] をクリックします。

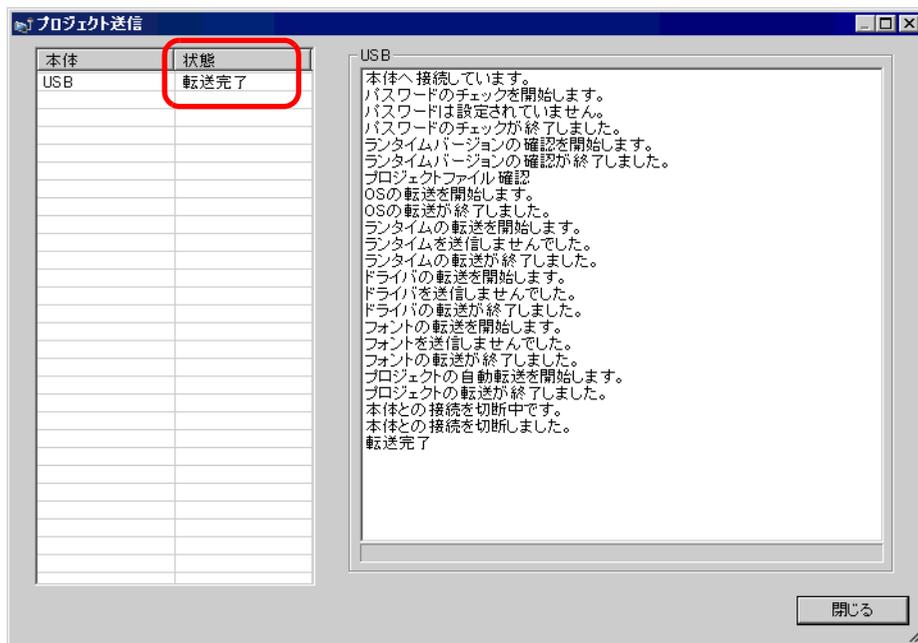
転送が開始されます。次のようなダイアログボックスが表示されるので [はい] をクリックします。同じプロジェクトファイルを再度送信する場合は表示されません。



転送中は次のダイアログボックスが表示され、通信状態が確認できます。
 (GP は転送中モードに切り替わり、接続機器 (PLC など) との通信が切断された状態になります。)



7 転送が完了すると、ダイアログボックスの状態表示が [転送中] → [転送完了] に変わります。
 [閉じる] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
 (GP はリセットされ、転送したプロジェクトの画面が表示されます。)



8 ダイアログボックスを閉じると転送ツールに戻ります。[閉じる] をクリックして転送ツールを閉じます。

GP からパソコンへの転送（受信）

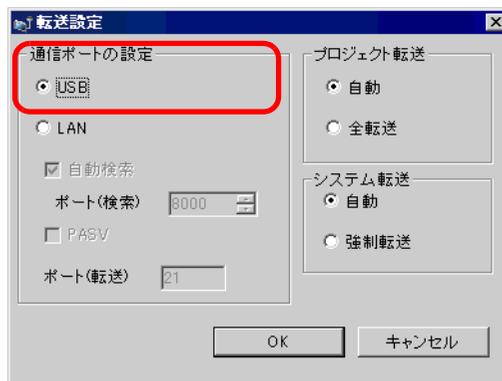
GP が現在記憶しているプロジェクトのデータをパソコンに受信します。

- MEMO**
- 受信動作の詳細については「27.7.3 受信のしくみ」（27-40 ページ）を参照してください。
 - 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
 「27.7 転送ツールの設定ガイド」（27-35 ページ）

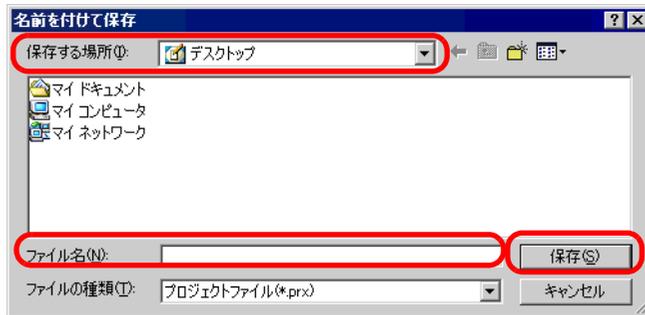
- 1 弊社オプション品の USB 転送ケーブルでパソコンと GP を接続します。
- 2 GP-Pro EX の状態ツールバーから画面転送アイコン  をクリックして転送ツールを起動します。



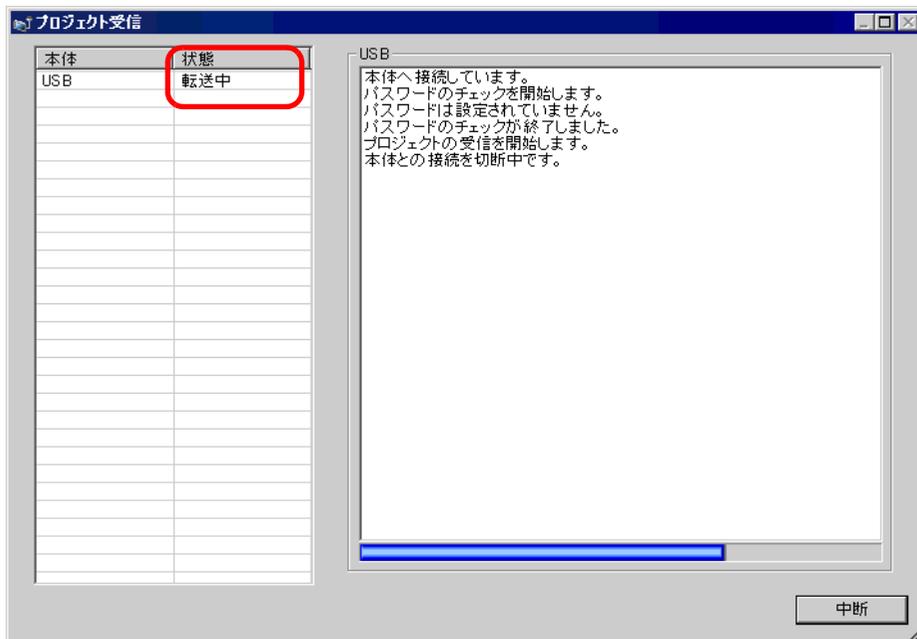
- 3 [転送設定情報] で [転送先] が [USB] になっていることを確認します。[USB] でない場合は、[転送設定] をクリックすると、次のような [転送設定] ダイアログボックスが表示されるので [通信ポートの設定] で [USB] にチェックを入れ [OK] をクリックします。



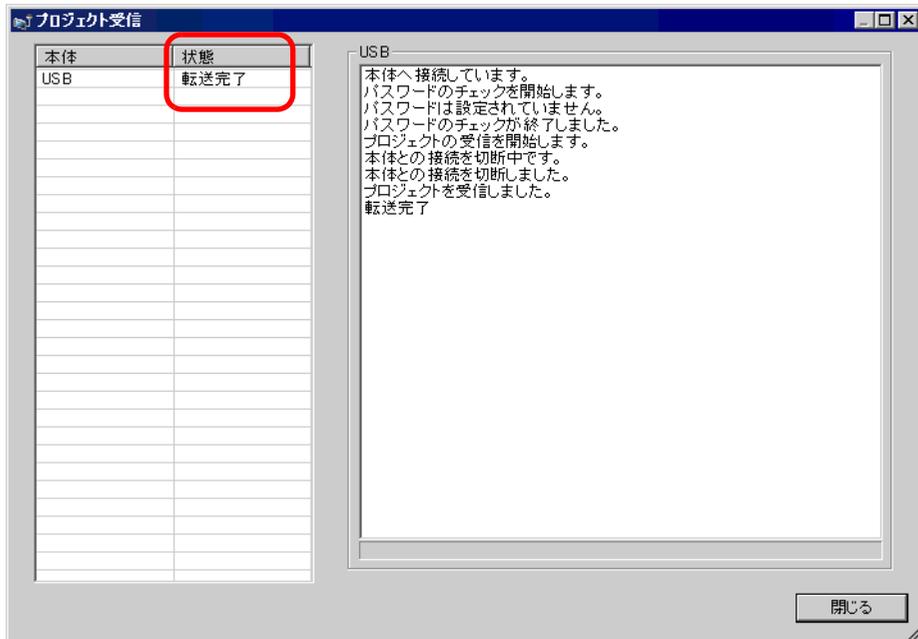
- 4 [プロジェクト受信] をクリックします。次のダイアログボックスが表示されるので、受信するデータの保存場所とプロジェクトファイル名を設定し、[保存(S)] をクリックすると転送が開始されます。



転送中は次のダイアログボックスが表示され、通信状態が確認できます。



- 5 転送が完了すると、ダイアログボックスの状態表示が [転送中] → [転送完了] に変わります。
[閉じる] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。



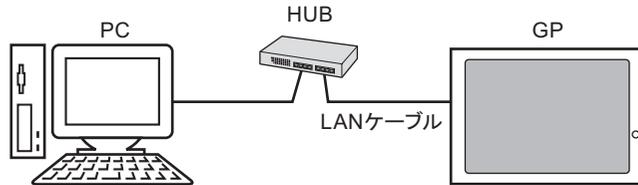
レシピ機能 (CSV データ) など CF カードデータを使用しているプロジェクトファイルを受信する場合は、受信中に次のようなダイアログボックスが表示されるので CF カード内のデータを保存する場所を指定してください。[OK] をクリックすると、[プロジェクト受信] ダイアログボックスに戻り転送を完了します。



- 6 ダイアログボックスを閉じると転送ツールに戻ります。[閉じる] をクリックして転送ツールを閉じます。

27.3 イーサネット (LAN) で転送したい

LAN ケーブルを使用して、イーサネットプロジェクトファイル (*.prx) を転送します。



重要

- イーサネットで通信するためには GP にイーサネットの設定 (IP アドレス、ポート番号など) を行う必要があります。

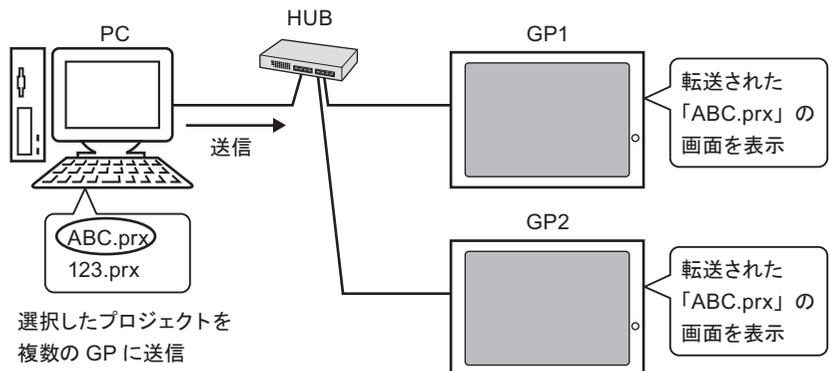
MEMO

- パソコンと GP 間の接続は、HUB を介さずに直接クロスケーブルで接続することもできます。

27.3.1 詳細

- パソコン → GP に転送 (送信)

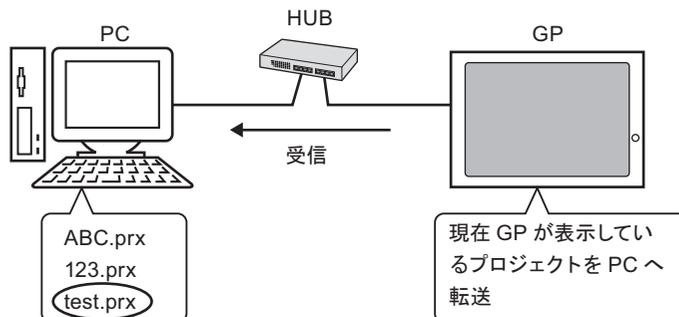
選択したプロジェクトファイル (*.prx) を GP へ転送し、プロジェクトを表示できます。
ネットワーク上にある複数の GP に同じプロジェクトを転送できます。



- GP → パソコンに転送 (受信)

GP に記憶されているプロジェクトのデータを、新たなプロジェクトファイル (*.prx) としてパソコン内に保存できます。

ネットワーク上に複数の GP がある場合でも、選択した 1 台の GP からデータを受信します。



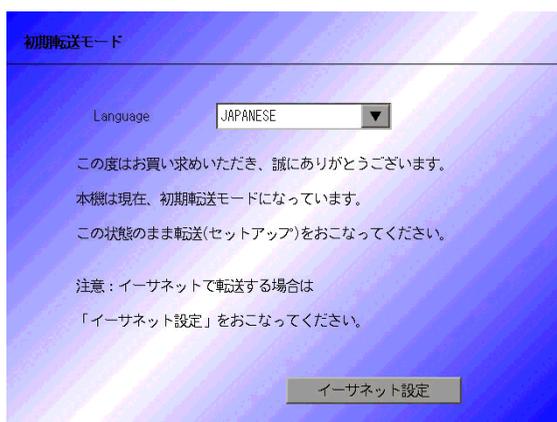
27.3.2 転送手順

パソコンから GP への転送 (送信)

GP に初めてプロジェクトを転送する場合の手順をご紹介します。

- MEMO**
- 送信動作の詳細については「27.7.2 送信のしくみ」(27-39 ページ)を参照してください。
 - GP ご購入時にあらかじめ設定されている IP アドレスのまま転送することもできます。
☞ 「あらかじめ設定されている IP アドレスで転送する」(27-20 ページ)
 - 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
☞ 「27.7 転送ツールの設定ガイド」(27-35 ページ)

- GP に LAN ケーブルを接続し、GP-Pro EX がインストールされているパソコンとネットワークを組み合わせます。(パソコン側にも同じネットワークアドレスの IP アドレスを設定してください。)
- GP の電源を ON します。[初期画面モード]画面が表示されます。英語画面が先に起動するので [Language] の右部分をタッチして [Japanese] に変更します。



GP をご購入いただいた直後に電源を ON した際の画面です。一度プロジェクト転送を行うと、以降はこの画面は表示されません。

- GP に IP アドレスを設定します。[イーサネット設定]をタッチすると、次の画面が表示され、出荷時に設定されている内容が表示されます。

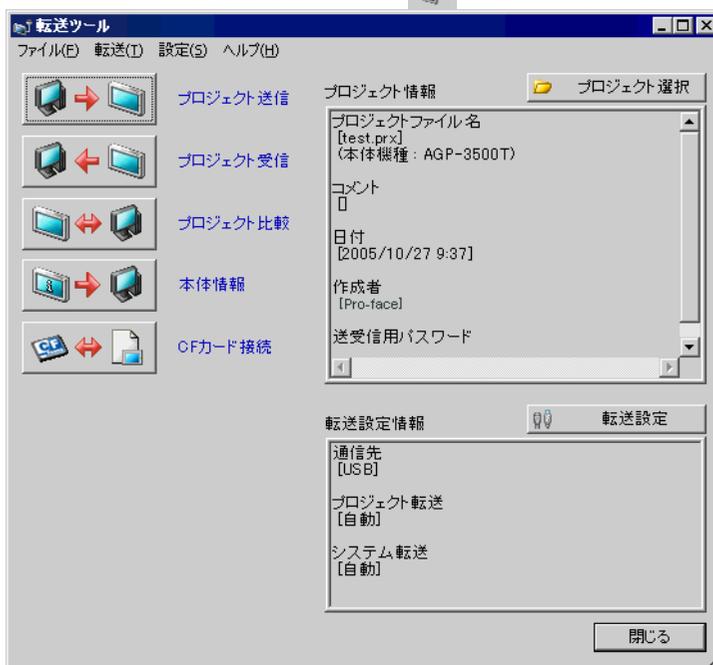
- MEMO**
- IP アドレスは、10.***.***.*** で初期設定されています。*** の部分は個々の機種で異なります。



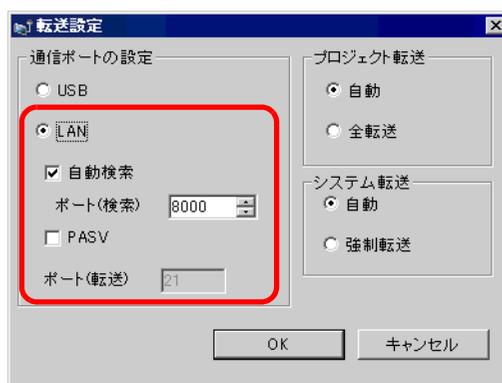
- 4 IP アドレス、サブネットマスク等を変更し [設定] をタッチします。
 (例 : 1 台目の GP,[IP アドレス]192.168.0.1、[サブネットマスク]255.255.255.0)
 そのほかの GP にも同じネットワークの IP アドレスを設定します。
- 5 再起動を確認するメッセージが表示されますので [はい] をタッチし、再起動します。
 再起動後は再び [初期転送モード] 画面が表示されます。

MEMO ・ 1 度プロジェクトを転送すると、次回からは [初期転送モード] 画面は表示されません。
 これ以降にイーサネット設定を変更したい場合は、GP のオフライン画面で変更してください。

- 6 GP-Pro EX の状態ツールバーから画面転送アイコン  をクリックして転送ツールを起動します。

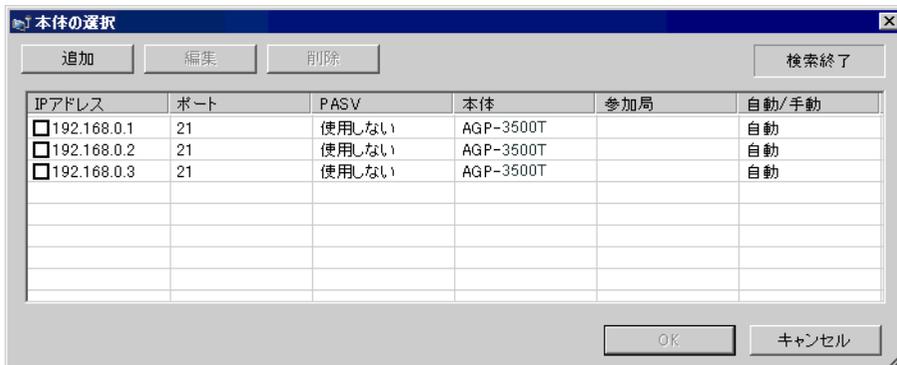


- 7 [プロジェクト情報] で転送するプロジェクトファイル名などを確認します。
 違うプロジェクトを転送したい場合は [プロジェクト選択] ボタンをクリックしてプロジェクトを選択できます。
- 8 [転送設定] ボタンをクリックすると、次のような [転送設定] ダイアログボックスが表示されます。
 [通信ポートの設定] で [LAN] を選択し、[自動検索] にチェックを入れて [OK] をクリックします。

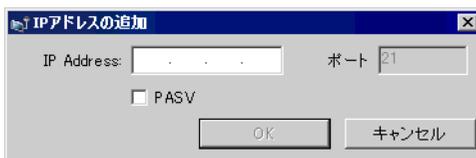


GP-Pro EXの[プロジェクト(F)]メニューから[画面転送(G)] - [転送設定(C)]を選択しても、同じダイアログボックスを開くことができます。

- 9 [プロジェクト送信] をクリックすると [本体の選択] ダイアログボックスが開き、ネットワーク上にある GP の IP アドレスが表示されます。

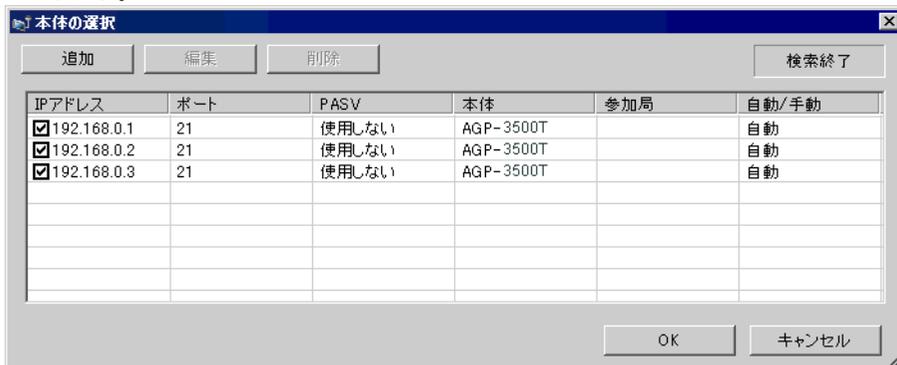
**MEMO**

- ・ パソコン側のサブネットマスクにあった GP のみが検出されます。
- ・ IP アドレスが自動検出されなかった場合は、[追加] をクリックして、手動で IP アドレスを入力してください。

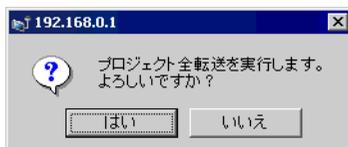


- ・ パソコンと GP の間にファイアウォールやルータの設定によりアクセス制限がされている環境で転送できない場合に、[PASV] にチェックを入れると転送できるようになる場合があります」

- 10 転送したい GP の IP アドレスにチェックを入れて、[OK] をクリックします。転送が開始されます。検索された、複数の IP アドレスにチェックを入れると、一回で複数の GP にプロジェクトを送信することもできます。



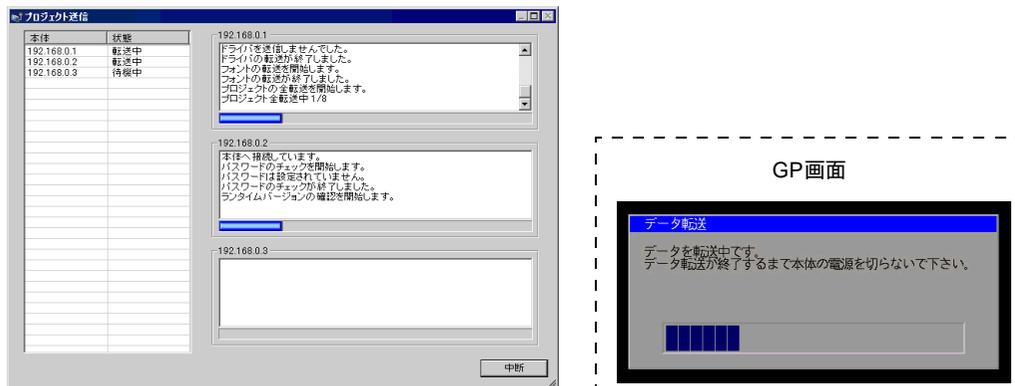
- 11 次のようなダイアログボックスが表示されるので [はい] をクリックします。(同じプロジェクトファイルを再度送信する場合は表示されません。)



転送中は次のダイアログボックスが表示され、通信状態が確認できます。

以下は複数のプロジェクトを送信した場合の例です。

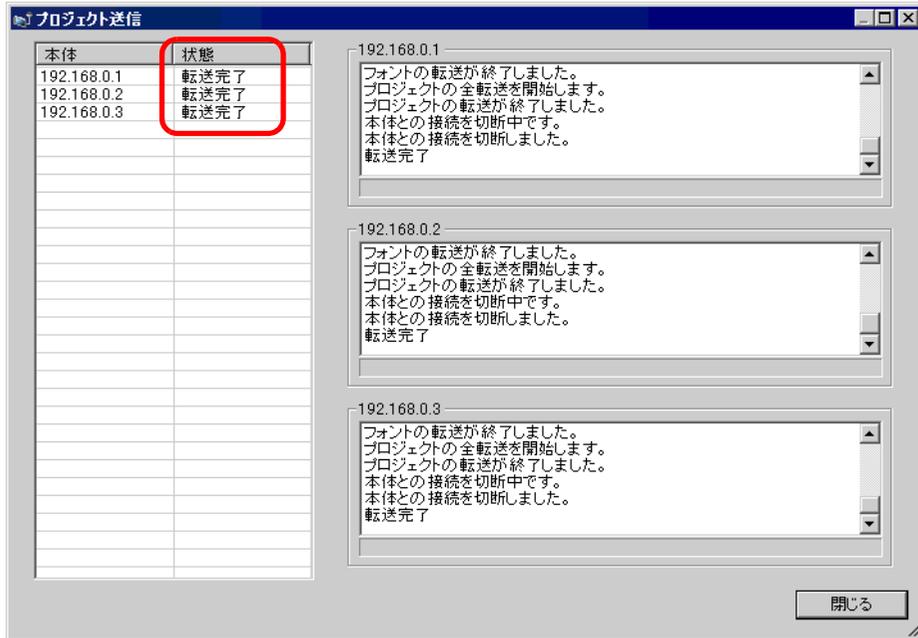
（GP は転送中モードに切り替わり、接続機器（PLC など）との通信が切断された状態になります。）



MEMO

- 複数の IP アドレスを転送した場合、1 台目が転送中になり、転送が進行すると 2 台目が転送を開始し、2 台目の転送が進行すると 3 台目が転送を開始しと順次転送されます。
- 各 GP に転送されるプロジェクトファイルにパスワード設定がされている場合は、パスワードの確認が終わるまでは次の GP への転送に移りません。

- 12 転送が完了すると、ダイアログボックスの状態表示が [転送中] → [転送完了] に変わります。
[閉じる] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
(GP はリセットされ、転送したプロジェクトの画面が表示されます。)



- 13 ダイアログボックスを閉じると転送ツールに戻ります。[閉じる] をクリックして転送ツールを閉じます。

GP からパソコンへの転送 (受信)

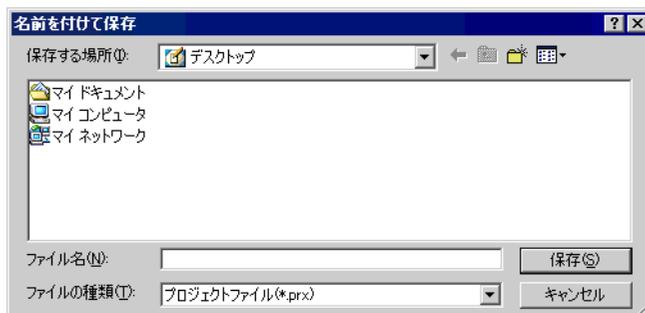
GP が現在記憶しているプロジェクトのデータをパソコンに受信します。イーサネットで受信するには、すでに GP に IP アドレスが設定されている必要があります。

- MEMO**
- 受信動作の詳細については「27.7.3 受信のしくみ」(27-40 ページ)を参照してください。
 - 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
 - ☞ 「27.7 転送ツールの設定ガイド」(27-35 ページ)
 - IP アドレスはオフライン画面の「イーサネット設定」で設定します。

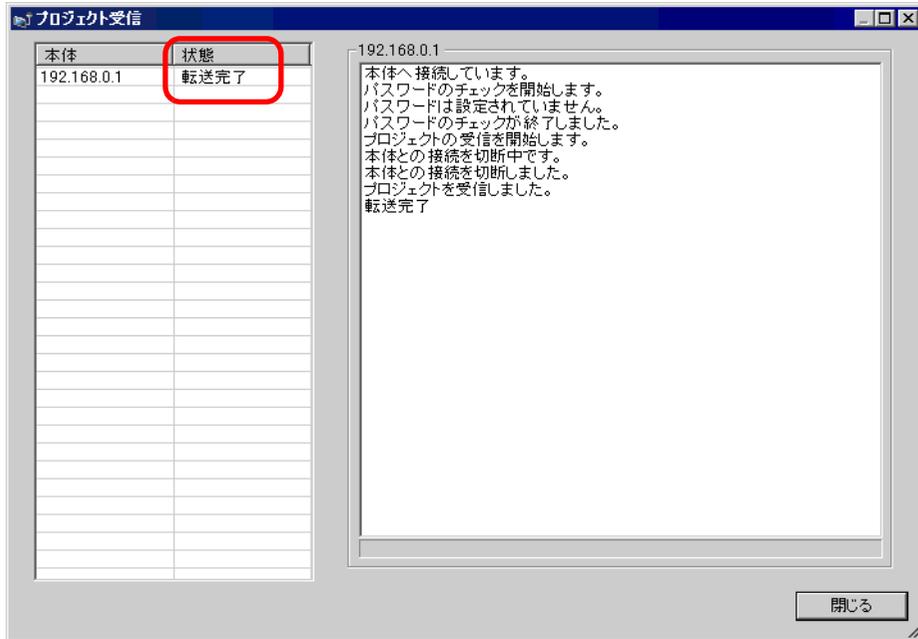
- 1 GP に LAN ケーブルを接続し、GP-Pro EX がインストールされているパソコンとネットワークを組みます。(パソコンにも同じネットワークの IP アドレスを設定してください。)
- 2 GP-Pro EX の状態ツールバーから画面転送アイコン  をクリックして転送ツールを起動します。
[転送設定情報] の [通信先] で [LAN] が選択されていることを確認してください。



- 3 [プロジェクト受信] をクリックします。[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されるので、受信したデータの [保存する場所 (I)]、[ファイル名 (N)]、をを設定し [保存 (S)] をクリックします。



- 5 受信が完了すると、ダイアログボックスの状態表示が [転送中] → [転送完了] に変わります。
[閉じる] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。



レシピ機能（CSV データ）など CF カードデータを使用しているプロジェクトファイルを受信する場合は、受信中に、次のようなダイアログボックスが表示されるので CF カード内のデータを保存する場所を指定してください。[OK] をクリックすると、[プロジェクト受信] ダイアログボックスに戻り転送を完了します。



- 6 ダイアログボックスを閉じると転送ツールに戻ります。[閉じる] をクリックして転送ツールを閉じます。

あらかじめ設定されている IP アドレスで転送する

GP の IP アドレスは工場出荷時にあらかじめ設定されています。この IP アドレスのまま転送するには、転送を行うパソコン側の IP アドレスを変更します。

- 重要**
- 同一ネットワーク上でプライベートアドレス「10.***.***.***」を使用している場合は、GP のあらかじめ設定された IP アドレスは使用しないでください。使用した場合、そのネットワークで通信異常が発生する可能性があります。

- MEMO**
- 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
☞ 「27.7 転送ツールの設定ガイド」(27-35 ページ)

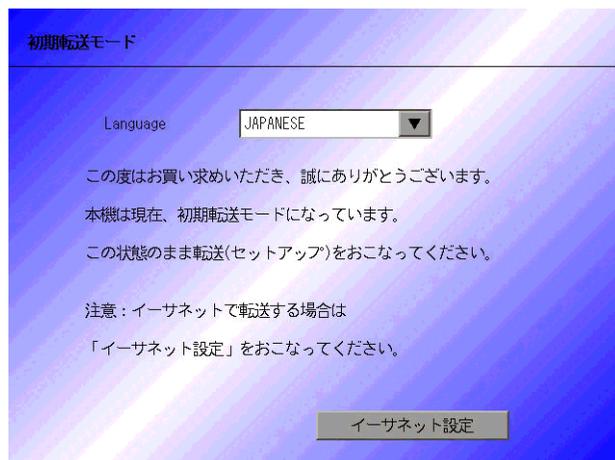
1 パソコンの IP アドレスとサブネットマスクを変更します。

IP アドレスを「10.255.255.1」から「10.255.255.254」の範囲内で設定し、サブネットマスクを「255.0.0.0」に設定してください。

- MEMO**
- パソコンによっては、設定を有効にするためにパソコンの再起動が必要になる場合があります。

2 GP に LAN ケーブルを接続し、GP-Pro EX がインストールされているパソコンとネットワークを組みます。

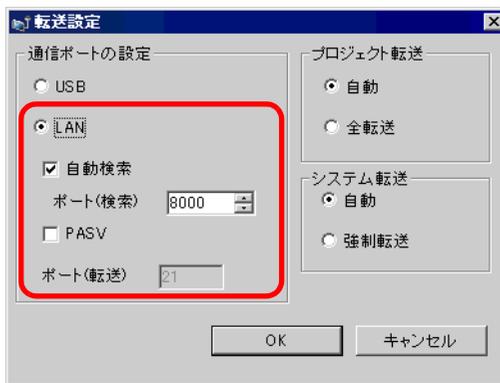
3 GP の電源を ON します。[初期転送モード]画面が表示されます。英語画面が先に起動するので [Language] の右部分をタッチして [Japanese] に変更します。 イーサネット設定を行う必要はありません。



4 GP-Pro EX の状態ツールバーから画面転送アイコン  をクリックして転送ツールを起動します。



5 [転送設定] ボタンをクリックします。次のダイアログボックスが開きます。[通信ポートの設定] で [LAN] を選択し、[自動検索] にチェックが入っていることを確認して [OK] をクリックします。



GP-Pro EXの[プロジェクト(F)]メニューから[画面転送(G)] - [転送設定(C)]を選択しても、同じダイアログボックスを開くことができます

- 6 [プロジェクト送信] をクリックすると [本体の選択] ダイアログボックスが開き、あらかじめ設定されていた GP の IP アドレスが表示されます。IP アドレスにチェックを入れて、[OK] をクリックします。転送が開始されます。複数の IP アドレスにチェックを入れると、一回で複数の GP にプロジェクトを送信できます。



- MEMO** • GP 側の IP アドレスやサブネットマスクを変更してしまうと検出されません。変更した場合はパソコン側もその設定にあった IP アドレスとサブネットマスクに設定しなおしてください。

転送中はダイアログボックスが表示され、通信状態が確認できます。
(GP は転送中モードに切り替わり、接続機器（PLC など）との通信が切断された状態になります。)

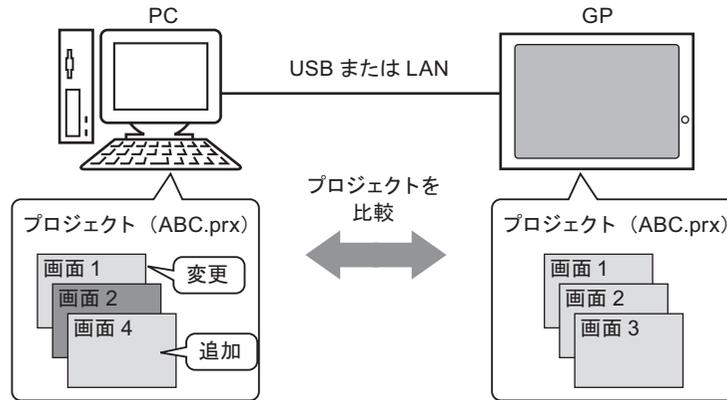


- 7 転送が完了すると、ダイアログボックスの状態表示が [転送中] → [転送完了] に変わります。
[閉じる] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

27.4 転送前にプロジェクトの変更点を確認したい(比較)

27.4.1 詳細

現在 GP-Pro EX で開いているプロジェクト(または選択したプロジェクト)と、GP が記憶しているプロジェクトを比較します。転送を行う前にどの画面を更新したのかを確認するのに便利です。



比較結果から次のことが判断できます。

- 画面番号が同じで、画面内容が異なる → 画面を更新した
- 画面がパソコンにのみ存在している → 画面を追加した
- 画面が GP にのみ存在している → 画面を削除した

MEMO • イーサネット (LAN) で接続している場合でも、比較できるのはネットワーク上にある選択した GP1 台のみです。

27.4.2 比較手順

現在 GP-Pro EX で開いているプロジェクトと、LAN で接続している GP に記憶されているプロジェクトと比較します。

MEMO ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

☞ 「27.7 転送ツールの設定ガイド」(27-35 ページ)

- 1 GP-Pro EX の状態ツールバーから画面転送アイコン  をクリックして転送ツールを起動します。



- 2 「転送設定」ボタンをクリックすると、次のような「転送設定」ダイアログボックスが表示されます。
「通信ポートの設定」で [LAN] を選択し、「自動検索」にチェックを入れて [OK] をクリックします。



- 3 [プロジェクト比較] をクリックすると、[本体の選択] ダイアログボックスが表示されるのでプロジェクトのデータを読み出す GP の IP アドレスにチェックを入れ、[OK] をクリックします。



- 4 次のような[比較] ダイアログボックスが表示され、パソコンと GP 間で画面ごとに比較を行った結果が表示されます。



- MEMO**
- [相違のみ表示] にチェックを入れると、比較結果が [同じ] もの以外を表示します。
 - プロジェクトに相違点がない場合や、比較するプロジェクトが GP 内のプロジェクトが全く別のファイルの場合はメッセージのみ表示されます。



- 5 確認後は [閉じる] をクリックして [転送ツール] を閉じます。

27.5 CFカードにデータだけを転送したい

27.5.1 詳細

転送ツールの [CF カードツール] 機能で、現在 GP 内の CF カードに保存されているデータをパソコン側で確認できます。

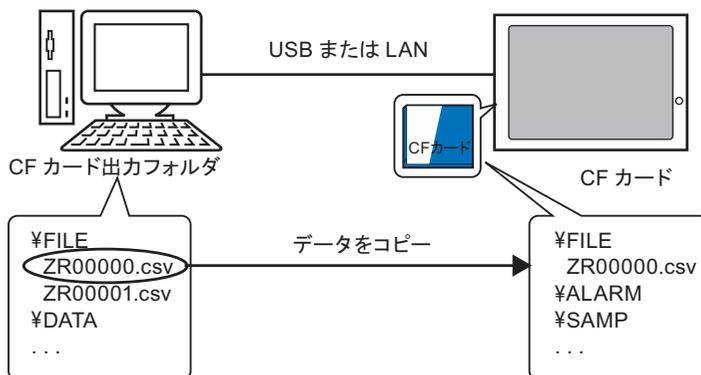
パソコン内の CF カード出力フォルダと GP 内の CF カード間でデータを互いにコピーしたり、CF カード内のデータの削除やファイル名の変更などに使用します。

- データのコピー

プロジェクトを転送せずに、CF カード出力フォルダ内にある指定したデータ（レシピデータやイメージデータなど）を GP 内の CF カードにコピーできます。

また GP 内の CF カードに格納されているデータ（アラームデータやサンプリングデータなど）をパソコン側にコピーできます。

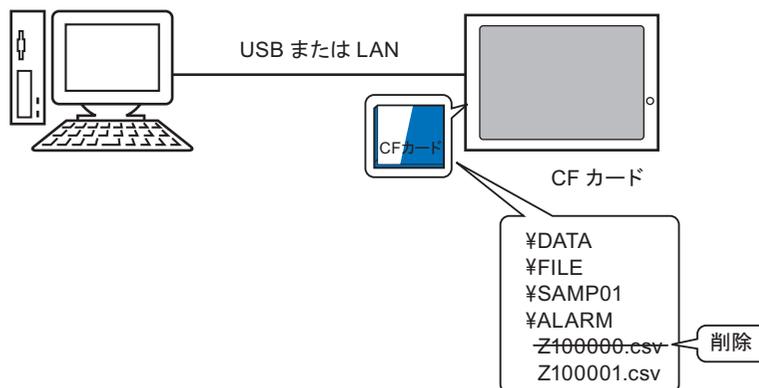
例)作成したレシピデータ (ZR00000.csv) を CF カードへコピー



- CF カード内のデータを削除

GP に挿入されている CF カード内のデータを削除できます。

例) CF カード内のアラームデータ (Z100000.csv) を削除



27.5.2 転送手順

CF カード出力フォルダ内のレシビデータ (ZR00000.csv) を GP 内の CF カードにコピーします。

MEMO • 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

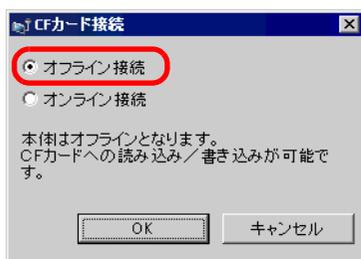
☞ 「27.7 転送ツールの設定ガイド」(27-35 ページ)

1 GP-Pro EX の状態ツールバーから画面転送アイコン  をクリックして転送ツールを起動します。



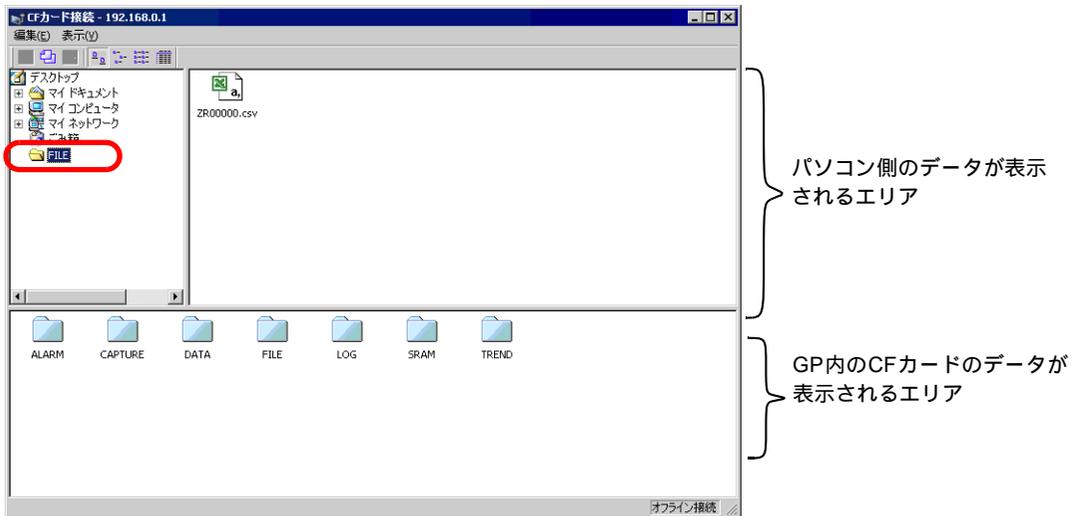
2 [CF カード接続] をクリックします。次のダイアログボックスが表示されますので、[オフライン接続] を選択して [OK] をクリックします。

(GP は転送中モードに切り替わり、接続機器 (PLC など) との通信が切断された状態になります。)



MEMO • [オンライン接続] を選択した場合は、データ情報の確認のみできます。CF カード内のデータのコピー、削除、移動などはできません。

- 3 CF カードツールが起動しますので、左側のフォルダリストから CF カード出力フォルダ内の FILE フォルダを指定します。フォルダ内のデータが右側に表示されます。



- 4 ツール右側に表示されたデータの中からレシピデータ (ZR00000.csv) を選択し、ツール下部の CF カードのエリアにドラッグ&ドロップします。

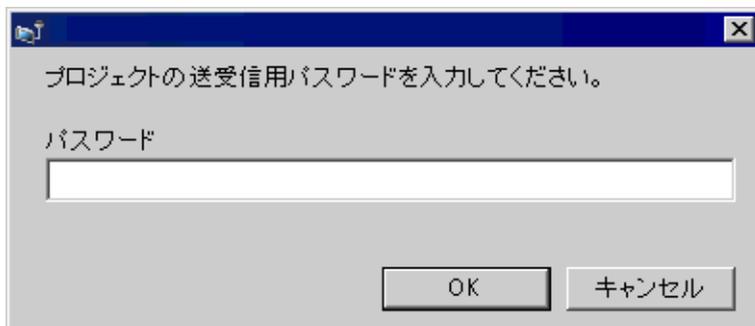
MEMO ・ レシピデータ (ZR00000.csv) を選択して、 をクリックしてコピーし、CF カードのエリアで  をクリックして貼り付けることもできます。

- 5 CF カードツールを  で閉じ、転送ツールに戻ります。
[閉じる] をクリックして転送ツールを閉じます。

27.6 パスワードで転送を許可したい

27.6.1 詳細

パスワードを設定することで、プロジェクトの送受信にプロテクトをかけることができます。プロジェクトの送信・受信を行う際にパスワード入力用ウィンドウが表示され、入力したパスワードが設定しているパスワードと一致した時のみ転送できます。特定の人だけが転送できるセキュリティ対策にご利用頂けます。

**重要**

- パスワードを忘れると転送できなくなりますのでご注意ください。
- パスワードを3回間違っていると、転送は中止されます。

MEMO

- パスワード確認入力ウィンドウが表示されたまま何も操作されない状態で10分経過すると警告メッセージが表示され、それから更に10分経過するとタイムアウトとなり強制的に転送を中止します。
- パスワードを設定したプロジェクトは、比較を行う場合やCFカードデータ転送を行う場合にも同様のパスワードを入力する必要があります。

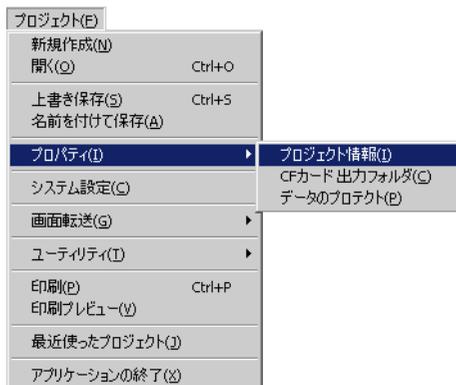
27.6.2 設定手順

パスワードを設定します。

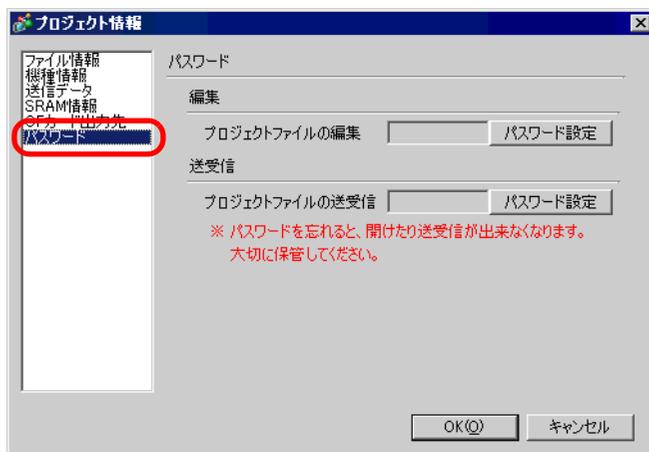
重要 • パスワードを忘れると転送できなくなりますのでご注意ください。

1 GP-Pro EX の [プロジェクト (F)] メニューから [プロパティ (I)] - [プロジェクト情報 (I)] を選択します。

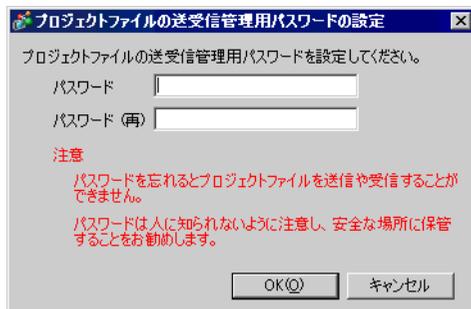
[プロジェクト情報] ダイアログボックスが開きます。



2 [プロジェクト情報] ダイアログボックスの左の項目一覧から [パスワード] を選択します。



- 3 [プロジェクトファイルの送受信]の[パスワード設定]をクリックします。次のダイアログボックスが開きます。



- 4 [パスワード]に英数半角 24 文字以内でパスワードを入力します。確認のため[パスワード(再)]にも同じパスワードを入力します。



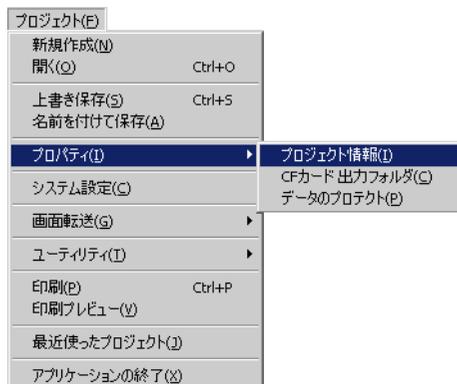
- 5 [OK]をクリックするとパスワードの設定が完了です。

27.6.3 転送パスワードの解除 / 変更

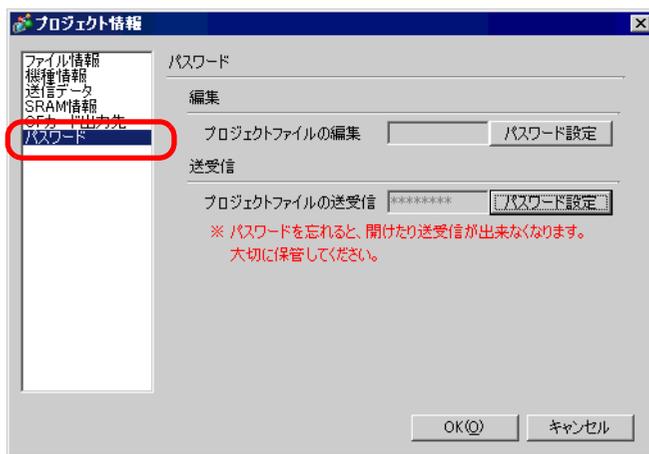
既に設定しているパスワードを解除します。

- 1 GP-Pro EX の [プロジェクト (F)] メニューから [プロパティ (I)] - [プロジェクト情報 (I)] を選択します。

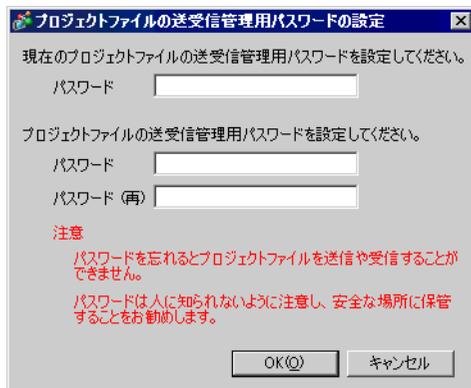
[プロジェクト情報] ダイアログボックスが開きます。



- 2 [プロジェクト情報] ダイアログボックスの左の項目一覧から [パスワード] を選択します。



- 3 [プロジェクトファイルの送受信]の[パスワード設定]をクリックします。次のダイアログボックスが開きます。



- 4 現在設定しているパスワードを入力します。

パスワード

- 5 [パスワード]、[パスワード(再)]は空白のまま、[OK]をクリックします。パスワードが解除されます。

パスワード

パスワード(再)

MEMO • パスワードを変更する場合は[パスワード]に新しいパスワードを入力し、[パスワード(再)]にも同じパスワードを入力して[OK]をクリックします。

27.7 転送ツールの設定ガイド

パソコンと GP 間でプロジェクトを転送するためのツールを「転送ツール」と呼びます。GP-Pro EX の状態ツールバーから [画面転送] アイコン  をクリック（または [プロジェクト (F)] メニューの [画面転送 (G)] - [その他の転送 (E)] を選択）すると、転送ツールが起動します。



MEMO

- GP-Pro EX をインストールせずに、転送ツールだけをインストールして使用することもできます。開発環境（作画を行うパソコン）とは別のパソコンで転送作業のみを行いたい場合などに便利です。

☞「27.7.4 転送ツールのみインストールして転送したい」(27-41 ページ)

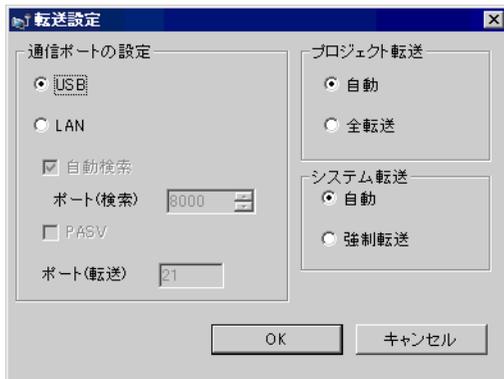
設定項目	設定内容
プロジェクト送信	<p>現在 GP-Pro EX で開いているプロジェクト（または [プロジェクト選択] で選択したプロジェクト）を GP へ送信します。 CF カード出力フォルダを設定しているプロジェクトの場合、CF カード出力フォルダ内のデータは GP に挿入されている CF カードへ送信されます。</p> <p>☞「27.7.2 送信のしくみ」(27-39 ページ)</p> <p>重要</p> <ul style="list-style-type: none"> 送信を行うと GP のバックアップ SRAM に格納されているデータは消去されます。
プロジェクト受信	<p>接続している GP に記憶されているプロジェクトのデータを受信し、新規プロジェクト (*.prx) としてパソコン上の指定した場所に保存します。 CF カードを使用しているプロジェクトの場合、GP に挿入されている CF カード内のすべてのデータも同時に受信され、指定した場所に保存されます。</p> <p>☞「27.7.3 受信のしくみ」(27-40 ページ)</p>

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
プロジェクト比較	<p>現在 GP-Pro EX で開いているプロジェクト（または[プロジェクト選択]で選択したプロジェクト）と、接続している GP に記憶されているプロジェクトを比較し、その結果を表示します。</p> <p>CF カード出力フォルダを設定しているプロジェクトの場合は、CF カード出力フォルダと GP に挿入されている CF カード内のデータの比較も行われます。</p>
本体情報	<p>接続している GP のシステムバージョン、GP が記憶しているプロジェクト情報や画面情報を読み込んで表示します。</p> <p>システムバージョン：本体機種、バージョン、ドライババージョン プロジェクト情報：プロジェクトファイル名、コメント、日付、作成者 画面一覧：ベース画面、ウィンドウ画面、共通画面などの各画面番号と種類、コメント、サイズ、日付</p>
CF カード接続	<p>CF カードツールを起動します。以下のように接続方法によって作業内容が異なります。</p> <div data-bbox="642 625 1000 880" style="text-align: center;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <p>• オフライン接続 CF カード出力フォルダと CF カード間で、ファイルのコピー、CF カード内のファイルの削除、名前の変更などを行うことができます。 CF カードツールを起動している間、GP は転送中モードに切り替わり、接続機器（PLC など）との通信は切り離された状態となります。</p> <p>• オンライン接続 CF カード内の情報（ファイル名、ファイルサイズ、日付）が確認できます。 CF カードツールを起動している間も GP は接続機器（PLC など）との通信を行います。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> <p>• CF カードツール起動後、最後の操作から 10 分が経過すると GP との接続は自動的に切断されます。</p>
プロジェクト選択	<p>GP に転送したいプロジェクトファイル（*.prx）を選択するためのダイアログボックスが開きます。</p>
プロジェクト情報	<p>現在 GP-Pro EX 上で表示しているプロジェクト（または[プロジェクト選択]で選択したプロジェクト）の情報が表示されます。</p> <p>[プロジェクト選択]で別のプロジェクトに変更すると、そのプロジェクトの情報に更新されます。</p>
転送設定	<p>[転送設定]ダイアログボックスを開きます。通信ポート（USB/LAN）の変更や、転送方法の変更を行います。</p> <p>☞「27.7.1 [転送設定]の設定ガイド」（27-37 ページ）</p>
転送設定情報	<p>現在設定している GP との通信ポートや転送方法の設定内容が表示されます。</p> <p>[転送設定]で設定を変更すると内容は更新されます。</p>

27.7.1 [転送設定] の設定ガイド

GP-Pro EX で [プロジェクト (F)] メニューの [画面転送 (G)] - [転送設定 (C)] を選択するか、転送ツールで [転送設定] をクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。



設定項目		設定内容
通信ポートの設定	USB	USB 転送ケーブルを使用して画面転送を行う場合に指定します。
	LAN	イーサネット (LAN) を使用して画面転送を行う場合に指定します。
	自動検索	[LAN] を選択している場合、同じネットワーク上にある GP を自動的に検索するかどうかを指定します。
	ポート (検索)	[自動検索] を指定している場合、検索時のポート番号を設定します。
	PASV	[LAN] を選択している場合、ネットワークセキュリティの関係上、通信がうまくいかない場合に指定します。
ポート (転送)	[PASV] を指定した場合に使用されるポート番号が表示されます。	
プロジェクト転送	自動	転送しようとしているプロジェクトと、現在 GP が記憶しているプロジェクトが同じものかどうかを自動的に比較し、同じプロジェクトだった場合は、変更・追加した画面データだけを送信します。 新規にプロジェクトを送信する場合 (GP にデータが何も入っていない状態) や、既に GP に別のプロジェクトが入っている場合は、確認メッセージを表示して [OK] を選択した場合のみ、プロジェクト全体を送信します。
	全転送	転送しようとしているプロジェクト全体を送信します。GP 内の既存のプロジェクトは書き換えられます。

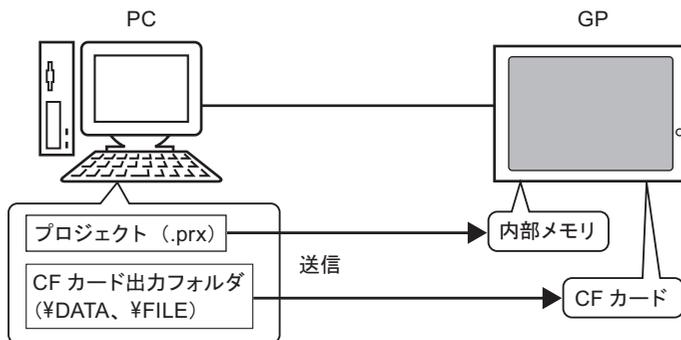
次のページに続きます。

設定項目		設定内容
システム 転送	自動	<p>プロジェクト送信の際、GP-Pro EX と GP 内のシステムバージョンを自動的に比較して、必要に応じてシステムプログラム¹、プロトコルプログラム²、フォント³を GP にダウンロードします。</p> <p>ダウンロードが行われるのは次のような場合です。</p> <ul style="list-style-type: none"> GP にまだ何もデータが入っていない状態（ご購入時のままの状態）で転送を行う場合 GP が記憶しているシステムプログラム（Runtime）が GP-Pro EX のバージョンより古い場合 GP が記憶しているプロトコルプログラム（ドライバ）のバージョンが古い場合や、プロジェクトの接続機器の設定を追加・変更した場合 GP が持っていないフォントを画面作成時に使用した場合
	強制転送	<p>プロジェクト送信の際、GP をフォーマットした後、システムプログラム¹、プロトコルプログラム²、フォント³を強制的に GP にダウンロードします。</p> <p>転送しようとしている GP-Pro EX のシステムバージョンが、既存のものより古い場合でもダウンロードが行われます。</p>

- 1 GP 上でプロジェクトを稼動するためのデータです。
- 2 使用する接続機器との通信に必要なデータです。
- 3 プロジェクトで使用するフォントデータです。

27.7.2 送信のしくみ

現在 GP-Pro EX で開いているプロジェクト（または選択したプロジェクト）を GP に書き込みます。CF カード出力フォルダを設定しているプロジェクトの場合、CF カード出力フォルダのデータ（¥DATA と ¥FILE）は、GP 内の CF カードに保存されます。



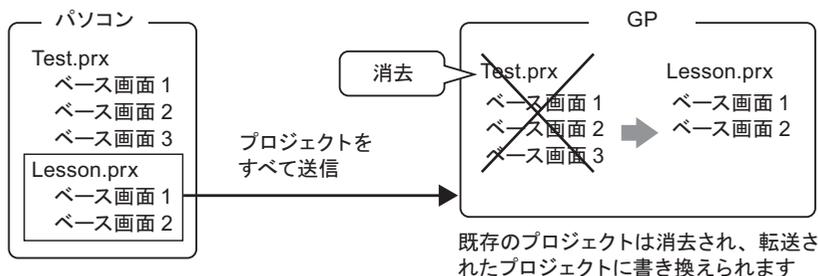
MEMO

- GP が記憶できるのは 1 個のプロジェクトファイル (*.prx) のみです。
- プロジェクトを送信する際、必要に応じてシステムプログラム、プロトコルプログラム、フォントなどのデータも自動的に GP にダウンロードされます。そのため転送に時間がかかることがあります。
- CF カード出力フォルダに同じファイルがある場合は転送時に上書きされます。

既に GP に同じプロジェクトが入っていた場合は、変更や追加した画面データのみが送信されます。GP にまだ何もプロジェクトが入っていない場合や別のプロジェクトが入っていた場合は、プロジェクトのすべてが送信されます。

< GP に別のプロジェクトが入っている場合 >

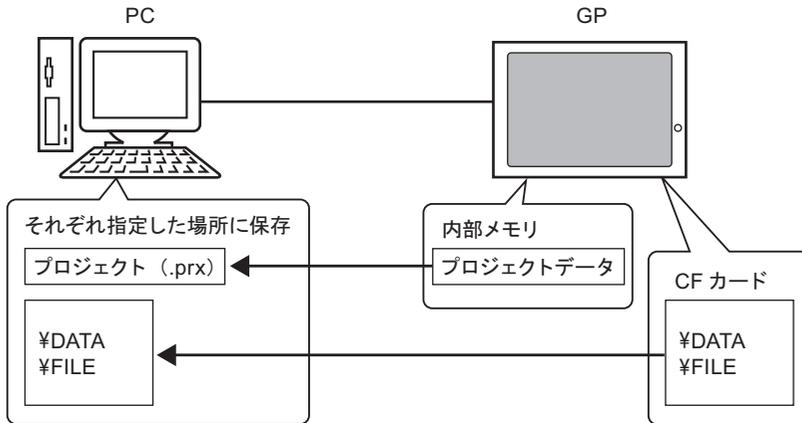
例) GP に「Test.prx」が入っている状態で「Lesson.prx」を転送



27.7.3 受信のしくみ

現在 GP に記憶されているプロジェクトのデータを読み出し、パソコン内の指定した場所に新たなプロジェクトファイル (*.prx) として保存します。

CF カード出力フォルダを使用しているプロジェクトの場合、CF カードのデータ (¥DATA と ¥FILE) も、指定した場所に保存されます。



27.7.4 転送ツールのみインストールして転送したい

開発環境（作画を行うパソコン）とは別のパソコンで転送作業のみを行いたい場合は、転送ツールだけをインストールして転送できます。

< 転送ツールの動作環境（OS） >

- Windows 2000 Professional（SP3 以上）
- Windows XP
- Windows 98（Second Edition 以上）
- Windows Me

重要

- 転送ツールをインストールしているパソコンには、GP-Pro EX のインストールを実行できません。転送ツールをアンインストールしてから GP-Pro EX をインストールしてください。

転送ツールのインストール

- 1 GP-Pro EX の CD-ROM を、転送を行いたいパソコンに挿入します。
次の画面が表示されます。



- 2 [転送ツール] をクリックします。

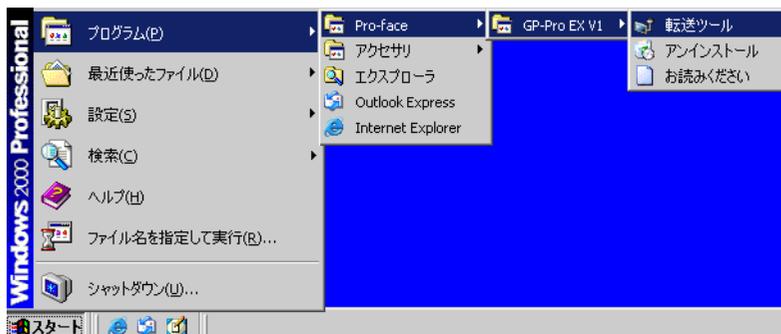
MEMO

- 既に GP-Pro EX がインストールされているパソコンでは、[転送ツール] を実行できません。

- 3 インストール先フォルダを指定します。初期設定では“C:¥Program Files¥Pro-face¥GP-Pro EX” が指定されています。
- 4 インストールが開始されます。完了したらパソコンを再起動してください。

転送ツールの起動～転送

- 1 パソコンのスタートメニューから [プログラム (P)] - [Pro-face] - [GP-Pro EX] - [転送ツール] を選択します。



- 2 転送ツールが起動します。



- 3 GP からプロジェクトを受信する場合は [プロジェクト受信] をクリックします。
プロジェクトの送信や比較を行う場合は [プロジェクト選択] でまずプロジェクトを選択します。

27.8 制限事項

27.8.1 転送時の制限事項

- プロジェクトを送信した場合、GPのバックアップSRAMに格納されているデータ（サンプリングデータなど）は消去されます。
- プロジェクトを送信する際、必要に応じてシステムプログラム、プロトコルプログラム、フォントなどのデータも自動的にGPにダウンロードされます。そのため転送に時間がかかることがあります。

ダウンロードが行われるのは次のような場合です。

- GPにまだ何もデータが入っていない状態（ご購入時のままの状態）で転送を行う場合
- GPが記憶しているシステムプログラム（Runtime）がGP-Pro EXのバージョンより古い場合
- GPが記憶しているプロトコルプログラム（ドライバ）のバージョンが古い場合や、プロジェクトの接続機器の設定を追加・変更した場合
- GPが持っていないフォントを画面作成時に使用した場合

ダウンロードが行われるとGPは一旦リセットされ、起動後は転送した画面が表示されます。

- GPがオフラインモードの状態ではプロジェクトを転送できません。
- プロジェクトが送信されている間、GPは転送モードに切り替わります。その間はオフラインモードの状態と同様に接続機器との通信は切り離されます。
- GPが記憶しているシステムプログラム（Runtime）の初期化処理中に異常がある場合は、エラーメッセージがGPに表示され、再度プロジェクトファイルを転送する必要があります。

27.8.2 イーサネットを使用した転送の制限事項

- ルータなどを使用して別々のネットワークにあるパソコンとGP間でも転送できますが、パソコン側から別のネットワークにあるGPを自動で検索できない場合があります。
- LANカードを2枚以上使用しているパソコンでは、IPアドレスの自動検索をしても目的のGPを検出できない場合があります。これはOSが先に見つけたLANカードに接続されているGPを検索するためです。[本体の選択]ダイアログボックスで[追加]をクリックし、転送したいGPのIPアドレスを手動で設定してください。
- Microsoft Windows XP Service Pack2を使用されている場合は、転送ツールを起動するとWindowsファイアウォールでブロックされているというメッセージが表示されますがブロックを解除すればそのまま転送の作業ができます。ただし、複数台のGPに転送を行う場合は、[転送設定]ダイアログボックスの[通信ポートの設定]で[PASV]を設定するか、ファイアウォールを無効にしてください。

27.8.3 CFカードツールの制限事項

- GPがオフラインモードの状態ではCFカードツールを使用できません。
- CFカードにはデータの書き換え回数に制限があります。（500Kバイトのデータ書き換えで約10万回）必ず他の記録媒体にバックアップをとってください。
- CFカードツール起動後、何もしていない状態で5分が経過すると警告メッセージが表示されます。このメッセージが表示されてから更に何もしていない状態で5分経過するとGPとの接続が自動で切断されます。

Memo